

年金積立金運用は10兆円の黒字！ ～ 昨年度実績 ～

公的年金の積立金を運用している年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）は7月4日、国内外の株価上昇により、2013年度の運用実績が10兆2207億円の黒字だったと発表した。

GPIFは、国内株式の運用比率が約16%に達しており、目安とする約12%を上回っているが、13年度の運用実績が大幅な黒字となったことで、株式での積極的な運用を求める声が高まりそうだ。

運用資産は今年3月末時点で、126兆5771億円。国内株式など保有するすべての資産で運用益が出て、黒字額は自主運用を始めた2001年度以降で2番目に多かった。

黒字の内訳は、外国株式が4兆7387億円、国内株式が3兆1855億円、外国債券が1兆7777億円、国内債券が3653億円だった。

運用実績が好調だった背景には、国内外の株価が上昇したため、運用益を押し上げた形になった。（2014年7月 読売新聞から）